



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/12

自分は、戦争を体験したことがないけど今回の授業をとおして戦争は、本当におそろいということが分かりました。一番最初に原子火暴弾が投下されたのが広島県、8月5日に日本に最初に投下された。2回目は、長崎県、天候が悪い時は小倉天候が悪い時は、広島にたい回しにされたのが今回分かりました。火暴弾投下の条件が①直径5kmを超えること②平野のであること③空しゅうがなかった。広島小倉長崎①ほかにも横浜、新潟、京都でも京都は、家が密しゅうして火暴弾投下すると若えやすかったが、文化財などの大切な物があり投下しなさいとて、アメリカがせんりょうしやすかと言っていました。上空600mで7000℃の熱さがおそろいおろて、中心温度は太陽の中のコアでも数千万度なのに。き重な話が聞けてよかったです



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆はおそろしいものだがとは思
っていたけど、こんなにもおそろしく、こわ
いものだとは思っていませんでした。なぜ、
アメリカ軍が、日本に原爆を落とそうと思っ
たのか不思議に思いました。また、熱線につい
たの話のときは、一番「ゾッ」としました。なぜなら、
爆心直下は3~4000℃で、熱線や、しょうげき
波などを、自分が受けたらして、「人がーしゃん
にして消えてしまう」ということで、私は、「自分が
消えてしまうとしたら、どのくらい「熱」のたごう
と想像しようと思いましたが、想像できなかった
と、分からないう状態だと思しました。150mの
ころにいた人で、助かった人がいると聞き、とても
びっくりしました。地下トイシにいたのは、本当
にきせきの出来事だと思しました。兵隊の人達
は、九日間、がれきの中を、探し、生きてる人が
いないかを探しているところを想像すると、
とても大変だったんだなと思しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことも通して、習わなかったことを、今日いろいろ教えてもらい、原爆候補になった都市や、いかなどを沢山ふだんおしえてもらってびっくりするようなことが山々でした。そして7000°Cの少年では、いろいろなお話を聞かせてもらい、これは本当の実話とも分らないほどの話でした。原爆の熱は、太陽の表面より1000°C以上だなんて、考えられないことでも、とても珍な事なんだと、よく分かりました。さらに、死亡率が40%だなんて、とても怖いし、亡くなった人も14万人さらに被爆者数が24万人で、もともと広島市の人口35万人ということは、軽傷などだった人は、11万人で、死者の数より3万人少ないだなんて、ありえないような事実だった人だと思いました。そして、このようなことは、もう起こっては、いけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて、原爆がどれほど、おそろしいものかというものを改めてわかりました。私が一番おどろいた(びっくりした)ことは、原爆先生が静まりかえったところで、急に、「バーン」(ドッカーン)と大きな声でさけたことです。私は、体がとまってしまいました。でも、その声よりも、もっと大きな音(爆発音)だというのを知って、実際にその音を聞いた人は、私たちよりも、もっとおどろいたんだと思います。そして、その音と同時に、よしろうさんが10m以上もとはされたというのもおどろきました。ここで、私は原爆のいかによく知りました。そして、その後のお話の中に、「死たいがその中に落ちていて...」というところを聞いて、体験したことがないからわからないけど、「きもちわるい!!」という感じうなんかなくて、なんとも言えないような、不思議な気持ちだと思っています。そんなひさんな状態の中でも、よしろうさんは、その場に9日間もいて、また生きていた人たちをすくったり、していたのがすごいと思います。私よりもよしろうさんと同じ、軍隊だったら、たぶん、色々な人をすくう元気もないと思いました。よしろうさんはすごいと最後に思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、社会の授業で戦争、原爆のことについて学びましたが池田氏の話を聞いても、戦争、原爆がどれほど否定的だったか知らなかったです。私が一番原爆はすかたと思、たことは全部です。つまり、1)目は、候補に落ちた都市です。最初は候補とかなしに1つだけだと思、ていたけれど候補に上がった。から、その次、それだす。日本に対して原爆を落とそうとしていたからです。

2)目は、広島に原爆が落ちた爆心地です。爆心地に至るまでに約30km/hの速さで落ちたことを知り爆心地は原爆の4が残るほどにまで残った都市だったと今がわかる。3)目は、熱線の温度です。この時広島と長崎に落ちた原子爆弾の熱線の温度が太陽の表面温度(6000℃)より1000℃も高かったから、そして中心部でも100万℃という6000℃の何倍もの温度に達して、そして自分はこの原爆に居、ていた。熱さを感じた。温度がそれ以上で死んでし、うと思、えばこの時近くにいた人は一瞬で死んでし、うです。よくか存し、てです。今の平和な日本があったのは原爆のおかげ。で、発展したため絶対に起、してほ、い、ないと思、いました。そのために世界の関わりを深くして核兵器などを保持して、い、かな、い、ま、う、に、し、て、い、ま、ほ、い、い、です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

原爆先生の授業を受けていままで知らな
 かった原爆の苦しき悲しさなどがよく分かり
 ました。まるで人間ではないような感じでした
 けをもとめてきた人たちが本当にかわいそうで
 苦しそうなことを原爆先生の話で本当によくつたわ
 てきました。そしてと中に原爆先生が静かにして
 バーンとドッカーンと大声でいった時はびっくりした
 けれどそんなにいまなり原爆が落ちてきたと
 いうことが分かりました。あと、いままで知ら
 なかった原爆の熱さ、いまお、形、かが分かりました。
 それを知って原爆がどれほど怖いものか
 分かりました。原爆先生のお父さんが体験した9日
 かは本当につらいもので悲しいことということがこの
 授業が一番よくつたわりました。これをどうして戦争
 は絶対に二度とあかしてはいけないと本当
 に思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

よく、この兵たいさんもただれたはだや、やけど、ほかれた皮ふを見るまでかへ出来たと思いました。特に私は小さいくらいの女性の足のやけどの中にほろかりあながあき、その中へうじ虫かいたというところかへ心に残りました。生きていたのに、そのよう状況にたえていたところにもすごいと感じました。それと、3000℃の熱線かきたまじにおどろきました。30℃とさえ熱いのにその100倍の熱さかぐるのだと思うと、怖いです。七くたった14万人中2万人もの方があとかたもなく七くたててしまつたと聞くとおどろきました。それほど熱かいたのだらうと思うと本当に苦るしかつたのだらうと感じました。被害にあつた方もちろん兵たいの方もつらかつたのだらうと思いました。水に入つても七くたててしまつたら、救済いようかはないと思いました。お父さんもその時のことを思ひたして、またつらくなつてしまつたと思います。私たつたら二度と思ひたしたくありません。けれど、戦争を体験した人々は今の私たちには分かつないような苦しみやつらさを感じたのだと思います。この言舌を聞き、さらに、戦争を起したくも、体験したくもないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、実際に戦争を体験した人のくわしい体験を聞いたことで、戦争を二度とおかしてはいけないのだと強く思いました。私たちが今暮らしている所は平和で、原爆の死体がそこら中にある状態は想像しにくけれど、資料館の被爆者の人形が「怖いすぎる」のなら、実際はもっとおそろいものだったのだと思いました。また、兵隊の方々はとても勇気があると思いました。なぜなら、性別も分からぬほどになり、皮を、骨がぬけた被爆者たちをまのあたりしながらかも、困っているを助けようとしていたからです。そして、このようなたった一つの原爆(リトルボーイ)だけでもあんなにも悲しいことになるのなら、今後原爆はこの世に必要なものではないと思えました。また、ラジオゾンデがパラシュートで落とされたから原爆もパラシュートが使われたなど、まちがったことを後世に伝えるようにするべきだと思えました。そして「7000℃の少年」というのは、「7000℃」は原爆のはげな温度「少年」はリトルボーイを表し、原爆のおそろさを示しているのだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆のお話を聞いて、原爆というものがいかにおそろしいかとい
 知りました。なんの罪も犯していない人々の命が、まばたきする間
 に亡くなってしまふというのは、とてもおそろしいと思います。また、太陽の表
 面温度よりも熱い物が、600km先の頭上から落ちてくるこ
 とは、想像しただけでも足がすくみます。灰色の世界と化してし
 ました広島は、今とはぜんぜんちがく、ただ立ちすくむしか無かったと思
 います。何が起ったかも分かりません。トラックに乗りこみ走ってゆ
 くのは、とても不安な気持ちになります。『助けて下さい』『助
 けて』と呼びかける人々の姿は、話を聞くだけでも痛々しく、顔
 をゆめらします。顔に大けつを負い、もう『人間のような生物
 』になってしまった人々を助けることもできず、ただちがみているしかあ
 りない気持ちはとても良く分かります。身が死んだと思っても、熱風で火
 を殺して下しほう絶望は、とてもおそろしいと思われました。私は原爆
 の話を聞くだけで、亡くなってしまった人々に同情をしたり好意はで
 きませんが、これから何十年、何百年たっても原爆のことは分すれず1日
 旧を生きていきます。お話しして下さい、おかげさまでございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆のマンガを言読んで
こおいと思っっていました。が、原爆
先生の話を聞いて、具体的に
どんなことがおこるのかが分か
り、想像しただけでおそろしい
物だと思いました。35万人も
いる広島市の人口のうち40%も
死者妻女がでたのを聞いて、自分の
住んでいる東京で同じことがおき
たのを想像したら、とてもこおい
です。なので、改めてこんなおそ
ろしいことがおきる戦争は何
一ついいこともない、二度とくり
返してはいけなしいと思いました。
また、貴重な話を聞けてよか
たと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

私は原爆先生の特別授業を受講して、今までよりも、とてもひさんなことだと思いました。とくにひふたやけどをお、たり、ただれたり、はがれたりしたの人々をよしろうさんはよく見られたなと思います。同じ人でも、どんなにかあいそうでも、私だ、たらこわくて、こわくて、みられないほどだと思います。よしろうさんはとてもすごいと思いました。かくらはぎをやけどしてくるしでいる女の人の足にウジ虫がはんしょくして、たのをていねいにこりのぞいて、包帯をまいて、おぶ、てとおいけがの処置をしてくれるところまでいてくれたのは、とてもよしろうさんたちはとてもやさしいなと思いました。よしろうさんはこの原爆のことは、何年たってもわすれられなかつたと思います。それでもみんなに原爆のことを語りついでくれたのはとても大変だ、たかましれないうつとすごいなと思います。私だ、たら30歳くらいでもとてもあつてたえられないのに、3000でたららすごい全身がいたくてもう苦しくて死んでしまうと思います。そのなかでも



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は、原爆先生の授業を受講して、どのようにして亡くなったのか、どのような現場だったのか、先生の動き、声などでよく分かりました。原爆くらの落ちるとき、音を本当に聞いているかのように感じました。どれだけの高温か、そのことも太陽を元に、さうとうなあつさが分かりました。放射線も多く発生し、それによつて亡くなる人、熱風でやけどをする人が多かつたということがいんしょうに残りました。けがをしているときの気使かいにより、足を痛めていた女性の方も少しは救われたと思います。自分が早く帰りたい気持ちが多かつたと思いますが、その中でけがのしちをするところが一番いんしょうに私は残りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

ぼくは、この授業をとおして原爆はとてもみずきなことがあったため知りました。また、原爆の苦し、悲しさを知ることができました。

原子爆弾投下都市の条件があったなんて思わなかったの。とても勉強になりました。

広島に投下された原爆の「リトルボーイ」の意味は、小さな少年ということは、はじめて知りました。

あと、広島におちた原爆で亡くなった方は、14万人だと知りとても悲しいと思えました。

原爆の中心温度は100万℃で、直径200mなんて思ってもいなかったの。とてもおどろきました。

それに、スカイツリーの第二ビルほうだいの高で爆発するなんてとてもまよふていられたようになります。

ぼくは、また、この勉強をしたと思えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を通して、1945年8月6日に投下された原爆はとしても悲しかったことも改めて感じました。人だけでなく周りの建物、外へきなどをすべて一瞬で無くしてしまう原爆は地球上にはならない物だと感じました。ぼくが一番しょうげきを受けたのは、3.12mもの長さで、約4tもの重さの原爆が地上から600mの高さで中心部は100万℃外温17000℃で太陽の表面温よりも高い熱線と、しょうげき波が、地上にいた人によりそそぎ、広島にいた人々は、3000℃もの高温をかんにひいて服が、つき、やけどをしながらも元安川とびこみ川の水が蒸発してしまっただけのことです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆はアツク油いモノだと思ってきました。それに、助かるとは
 ませきが起るたよいか身からたよいんだと思ってきました。
 例えば、義三たちが、トラックを待っているときに、トラム
 さんのかけしにたかぬていたから原爆の被害を
 受けずにすんだが、それに、トラムさんの二段重ね
 だ、しかも満はいたから飛はたれたたけで無傷
 だ、たごい。あと、トラックの運転手の人も、何かの
 かけしにたかぬていたから原爆の被害を受けずか、
 たしたのまアツク運がたか、たと思ってきました。

私は、原爆がアツク熱いこと知っていたけれど、とん
 ぐら熱いのか知らなくて、表面温度が17000℃
 が、太陽よりも10000℃も高く、しかも中の温度が
 100万℃にたるとんてアツくかどろきました。

それで、原爆で死んだ人が14万人いて、死亡率
 が40%で、被爆者がたいた170%。たごたか
 ら、ほとんどの人が被爆しちかんだと思ってきました。

そして、資料の「おしご」ロードマップの中に、説明され
 ていたことか書いてあり、とんてたかか知れたた
 たので、7000℃の少年と、原子爆弾の歴史を説くと思はす



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは池田さんの話を聞いて戦争かどれな
 ひさんがわかりました。池田さんのお父さんが
 兵隊は21歳17歳で軍にはいるはずか17歳で
 軍にはいったと聞いたこともびっくりしました。
 あつ原爆をおとされたあとの広場で死体をはたき
 仕事をしたと聞かされたこと聞いて
 すこいなと思ひました。もし自分が仕事をして
 いたら途中で仕事をやめたと思ひます。
 さうして原爆の死者が被爆者の人数を現
 ても二度と戦争をおとしてはいけな思ひました。
 今回は戦争のお話を聞いていただきありがた
 ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、戦争でたくさんのかたがせくなったことは学校の授業で習い知っていました。けれど、原爆でほとんどの人がせくなったことは初めて知りました。死亡率40パーセントと聞いたときはおどろき、5人に2人と聞いたときは、今の時代では信じられずありえないと思いました。原爆には熱線、衝撃き波、放射線があることが分かりました。熱線でとても痛いやけどをし痛みをたえづける人、衝撃き波でいっしょんでいなくなる人、放射線で原爆しょうになりせくなったり、今でも苦しんでる人、やけどで皮膚がはがれてしまっている人がいたことを知り、かわいそうで、そうどうするだけで、悲しくなってきました。戦争や、原爆はこの世にあってはいけないと思いました。今は昔の戦争があったからこそ平和に暮らしていかれると思います。だから未来へ、戦争での悲しみや苦しみを伝えていくことが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、話を聞いて原子爆弾によるひがいは、いし、人のうちにして
ひろまり、おおぜいの人の命をうばうものと思いました。

それに、ひがいは人間だけでなく、あつそいにかんけいのない
植物や動物もまきこんでしまったことだと思っています。

ひがいがあること分かって、爆弾を作ったり、持ったりするの
はおかしいと思います。広島が長崎におこったことが
また同じようになつてしまうかもしれない可能性を
私はなくした方がよいと思います。と言うより、なくさな
きゃだめです。そして原子爆弾を生んだ理

由にもなる戦争もだめだと思っています。そのようなこ
とをみずから望む人はたれ一人としないと話をきいて
思ったからそのように私は考えました。そしてその
ような考えを日本以外にも、どうかに理解
してもらえば原子爆弾を使つて戦争をかう
などの考えがなくなると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業でうっはじめて知ったこと
があります。一つ目は、原子爆弾投下の条件がある
ということです。ぼくは、いまで原子爆弾は、どこにでも
投下しているのだと思っていました。でも今回、原爆先生が
戦争のことをよく教えてくれたので事実が分かりました。
ありがとうございます。そして二つ目は、広島市の人々の原
爆で亡くなった数です。ぼくは原爆で亡くなった人が
多くて2万人弱だと自分で信じこんでいました。でも今回
の授業で自分の思っていた約7倍の人々が死んでしま
ったのだと知って、かない気持ちでいっぱいですが、事
実が知れてよかったです。ありがとうございます。最後の三
つ目は、衝撃波の速さです。ぼくは全力で走れば、
熱風などの危険な風をにが切れそうだなと熱風
などと心にしていました。でもまたまた原爆先生のおかげ
で衝撃波が速いということなどいっぱい知れたので
うれしかったです。本日は誠にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、話を聞いて、原爆のおそろしさをあらためて知りました。

広島にとう下された「トルボーイ」その、熱線、しょうげきは、放射線などが、広島の爆心地近くにいた人に、とてつもない、被害をあたえ、実際、亡くなってしまったり、くるしんでいる人がいるそんな事を考えると、なんだか、かなしさと言、ていいのか苦しきなのかわさなのかわからない気持ちがかこみあげてきます。

そして、私は、戦争のしている時代に生まれなくてよかったなと思いました。だって、今回話してくれた事が、今本当におこったら、きっと私、たえる事が、できないと思うからです。本当にいやだからです。

だけれど、そんな、たえられないぐらいいやだからと思、う事を本当にけいけんしていたよしぞうさんは、本当にすごいなと思いました。

また今回この紙に書いてある、事以外にも、さまざま、な、戦争についての事を、知る事ができ、いけいけんになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業とおはなしをきくまで
 原爆はあんまりおそろしいものじゃないんじゃないか
 と思っていました。たけどおはなしを聞いて
 原爆は、いっしょにしてい人かしてしまおうぐら
 の、おそろしさがあると知ってこわいなと思いました。
 原爆とかで死んでしまった人たちは、ほんとにかあいそ
 うだと思いました。おはなしの中でたけどをひどくして
 ひろ、かむけてたすけをもとめているときいてひろ、か
 むけているのに歩けるのかすこいと思いました。
 ほくとらたらひろ、かむけていたすきで歩けな
 いと思ひます。原爆の強さは、ぼくはっしたじ
 てんで7000ともありさじょう600mに太陽があ
 ることと同じことがあかり、もしぼくが広しま
 にそのときにしたとしたらとてもこわいと思
 いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講するまえまでは、原爆のことをぶつらの爆弾だと思、ていました。けれど「原爆先生のお話をきいて人間のすかちがものすごいかけとてさあ、ただけで「いんが」はがれものをそうぞうした。そんなことにはなりたくないとおもいました。うでが「ふたよしのほどのかけと」で「はくちからあそびないほどいいおもた」とおもいました。ぼくは、けんはくは、いんがについてかははくはするものだとおも、て左ので「くちゅうで」はくはつすることをしてとてもおいときました。このようになけんちいんががいきかたてものをすててくすなうなけんはくをまよしたことのあついいんしょうを「けしかならたアメリカが」日本のたしいなきょうとにあつたにのけんぎうぶつをこおさないな」といふよいいんはうもあつたはアメリカはいい国だ」とおもいました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、戦争のおそろしさを大いに感じました。まるで原爆が落ちた時の様子を生々しくその時のように語っている様子がとても伝わってきました。もしも私が広島や大分周辺にすんでいたら、辺り一色、灰色の世界と真赤な空になっていて、人がそこら中で転がっていて…とむかむかのすごく耐えきれない気持ちになっていると思います。そんな体験を目の前にして今も必死に生きている人がいると思うとせせきのような事だと思えます。それと同時に戦争や爆弾を落として人の命をうばう事は許せない事です。私は義三さんが歩んできた戦争の時代を皮肉に思います。これからの未来に向けて戦争や争いのない世界になっていけばと改めて思いました。先日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生が、大きく声を出したとき、すごく、ヒュー、クリしたのに、実際これ以上大きい音になると考えるとすごく、ビククリしそう。あ。

原爆が落ちたときは、生きていた人もいたしかし、その熱風などで、せくなってしまうと聞いて、おどろきました。

爆心で、真上からくるので、かけがえのないので、きっと爆心で、おにりる、夕々しくの人々が、亡くな、た、と思、いました。

広島市の人口、およそ5万人のうち、14万人が、亡くな、り、死亡率40%、または、5人に2人が、亡くな、ると聞いて、とれた、大変だった、か、か、分、か、し、ま、す、し、て、14万人中、2万人が、1し、ゃ、ん、で、亡くな、ってしまうので、に、け、る、も、な、い、に、も、重、か、く、こ、と、す、り、で、き、ま、か、た、と、考、え、る、と、す、ご、く、こ、わ、い、で、す。

京都は文化遺産が、多、か、た、ので、目、か、た、に、け、れ、ど、広島のことを考えると、す、ご、く、大、変、だ、っ、た、ん、た、な、お、も、い、ま、す。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田さんの話で原ばくの事をたくさん知る事ができました。当時17歳だった池田さんの父陸軍上等兵だった池田義造さんの話では大ぜいの方が兵たいさんたあけて」と言っていたという話を聞いて原ばくはいっしょんのうちで人を消してしまう小布兵器だなどと思いました。他にも「水がいっしょんで熱湯になった。」「男女の区別がつかなくなった。」「いっしょんで灰色の町になった。」「がれきにあわろうとしたらやけどをした。」などの言葉を聞き私は「こんなおそろしい事のない平和な日本になってほしい。」と思いました。つまり原子力がかくへいきをこの世からなくしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生のお話を聞いてこわくなりました。いっしょんで「黒いかけ」だけが残った話や、全身が大やけどで「ひら」がただれている話は、想像するだけで「ゾッと」します。想像するだけで「ゾッと」するのに、実際に体験した人たちは、どれほどこわく苦しかったか、その人たちのことを思うと悲しくなります。広島市の人口に対して被爆者数が24万人、死者数14万人と聞いてとてもおそろしくなりました。私は社会の授業や紙いばいなどで戦争について学んだことがありました。知っていることもあったけれど「ほとんど知りませんでした。戦争で原爆の被害にあつて不幸になった人がたくさんいます。なので、この授業をどうして私は二度と原爆など落してほならないと思いました。このたびは原爆のお話しをしていただき「ありがとうございます」でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

細かい原爆の話、実際に体験した話、色々なお話しをしていただきました。

自分は体験した事のない戦争だけれど、
が声で爆弾が落ちる音をしたときには、本当に
自分が原爆の日に居るような気がして恐怖で
いはいでした。実際に経験した人たちが、こ
んなにも恐怖でいはいの中少しでも長く、一生
懸命国のために戦い、覚悟をして生きていた
のだと思いました。

そして、原爆で今も「原爆症」という病気にかか
り苦しんでいる人々がいるのだと知りました。

このように世界が苦しむ『戦争』。
戦争は二度としてはいけないものなん
だとお話しを聞いて改めて強く思いま
した。

これから、私たちが次の時代の人たち
に『戦争』の怖さ、恐しさを伝えられるよ
うになりたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

今回は原爆のことについて教えて
くださり、ありがとうございました。
私は原爆のおそろしさが今回の
授業でよく分かりました。
最初は原爆など少したいたこと
な...と...思っていました。けれど
本当は、原爆が一つ落ちるだけで
何百万何千万という人が亡くなっ
てしまうというおそろしいものだと
知り、今の平和な時代に生まれて
よかったと思います。またあのよう
な戦争になってしまったら、前よりも
たくさんの方が亡くなるんじゃないかと
思います。私はまた前のような
あのおそろしい戦争にならない
ように願っていたと思います。
今回は本当に原爆の怖さや
苦しさ、悲しさを教えてくださり、
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受けて、原爆は二度とおきてはならないに決まっていた。私が一番おどろいたのは、原爆が落とされた直後の温度です。住宅の周りが3000℃ということもびっくりしました。一瞬間にして、何十万人もの人が亡くなったことにとってもおそろしいと思いました。私は、原爆ドームが残っていることにもびっくりしました。爆心地のすぐ近くにあったのに残ったのはすごいと思いました。原爆先生の特別授業を受けて、二度とやってはいけないと思いました。一瞬間にして、多くの方が亡くなってしまおうからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生へ

原爆先生、今日は、これから聞くことはない
だろう、貴重な授業を行って下さりありがとうございました。
僕が特に心に残ったといえは、様々なことがあります
ますが、大きく分けて二つあります。一つ目は、アメリカのな
ぞの温情です。原爆を落とすなどということをやろう
としていたアメリカが、京都の文化を守らなければと考
えたということには、驚き、興味を持ちました。
二つ目は、原爆の力です。衝撃波が音速より
速いというのは衝撃でした。あとは、原爆の温
度です。100万℃で下ろされるのははじめて聞くこと
でした。戦争は、これから起こしてはならない
人間の欲望、憎しみのかたまりです。今日のお
話は、ぼくたちの世代が後世へとつなげて
いきます!



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のお話を聞いて、原爆は、とてもおそろしいとあらためて感じました。一番最初に、悲惨なことだと思ったのは、池田さんのお父さんが爆心地に行く途中にあった人々の話です。一瞬もの間に多くの人々が入ではないような姿だったと言う所です。そのような姿を想像するだけでふるえが止まりません。もう一つは、原爆の温度です。中心部は100万℃円周は7000℃、太陽の表面温度6000℃度よりもはるかに高くこのような熱さの破壊力。なぜこのようなものを落とたがるか。想像もできません。やはりこのようなおそろしい兵器は、二度と作ってはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は原爆についてあまり知りませんでした。でも今回の原爆先生の授業を通してたくさんの事が知りました。戦争中の大変さ、苦しさ、悲しさがとても伝わりました。兵隊さん達はたくさんの人たちを燃やしたと聞いた時、兵隊さんも苦しかったと思います。本当はあんなことをやりたくないと思っていたと思います。原爆は人を不幸にしかしない。二度と起きてはいけないと強く思いました。もし私が原爆の被災者、死んだ人の家族、兵隊さんだったら、と思うと、恐いです。一瞬にして消えてしまう。何が起きたのかも分からずに、原爆を体験した人達の悲しみは、はかり知りません。たくさんの人たちがやけどを体中におたと聞いて、私はそれが一番心をうたれました。川に飛び込みそのまま死んでしまう。生きた人もとてつもない痛みにおそわれた。私はその人たちを見て、生きた事を幸いと言っていいのかわかりません。私だったら死にたいと思ったはず。とても貴重なお話をもち、たくさんの人に伝えるべきだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

12/12

この度は、戦争当時に起こった原爆投下についての貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。今回の特別授業を通して、原爆の被害を受けることの恐ろしさが分かりました。例えば、原爆を受けたら、すべてが焼け灰となってしまうことや、原爆投下の後にも放射能で亡くなってしまうことです。原爆は、死者が多数出ることも知りました。広島県に落とされた17の原爆で、死者が14万人も出ていると聞いた時、ほくはびっくりしました。表面温度が7000℃で、太陽の表面温度より熱いこと、中心の温度が100万℃ということにはおどろきました。元々広島県産業奨励館だった原爆ドームが、今はほとんどくずれ落ちて少しだけしか残っていないのは、とても戦争は大変だと思いました。この学習は、これからの生活に生かしてみたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろしさを知りました。地上から600mしかはなれていない上空で、約7000度という太陽より熱いものが爆発したときの熱さ、苦しさを、もし私が原爆にあつた...ということを考えると、とてもつらい体験だと思いました。もしもう一度広島に原爆が落ちたら、一度目に生きのこった人などがもう一度苦しき炎の中に入れられてしまい、死んでしまうと思います。長崎に落ちてよかったというわけではないけど、一度苦しんだ人達がもう一度...ということを考えると、少し良かったと思いました。一しゅんにして何+万人もの命をうばった原爆を二度とくり返したくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別な授業を受講して、原爆を落とす候補になったところは広島、京都などで京都には日本にはとっても大切な文化財などがあったのですが、原子爆弾を投下するには条件があって京都にはあてはまらず、広島にはあてはまったため原爆を広島に投下する理由が分かった。

原子爆弾というのはとっても熱く、約100万度もあり、原爆先生の父は実際に体験し、周りには熱さで皮膚が焼けただれて、助けて、と言われてその人の手を握ったら、皮膚がズルズルととれたということを書いていて、聞いているだけでも、その当時の恐ろしさがすごく伝わってきました。

原爆のお話を聞いて、改めて絶対に戦争はよくないということを教えてもらいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

12/2

今日は、原爆^{げんぱく}について話していただきありがとうございました。原爆は、多くの人を殺し、町をかためつさせ、もし生き残ったとしても放射線による後いしょうがあり、今も苦しんでいる人がいます。せくな、た人は、広島の人口の約40%もいました。そのなかには、早く死した人もいましたが、多くの方は、体のいたる戸所にやけどを負い、皮膚がはがれ、人には全く見えな人もいました。爆弾が投下された戸所の近くでは、体は炭か骨、あるいは遺体すらなく放射線でそのものがなくなることもあり、まして、こんなにも大きな被害を出した爆弾の名前は、リトルボーイ、日本語にすると少年です。これだけの被害を出して少年という名前なのがとてもおそろしいことだと思いました。そして、もう二度と原子爆弾はおとさない糸巻太夫に戦争をしないということをおれから後世へ伝えていこうと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお父さんのお話を最後まで、ていねいに話して
下さり、ありがとうございます。お話しの中キアツクで
というところがあってびっくりしました。けれど、本当に原爆が
投下された時にいた人の話がびっくりしてはよくこわかった。だ
うなと思いました。資料をつかての説明では、わかりや
すく、原爆のこわさをおしえていた。ごきありがとうございます
いた。広島県産業奨励館(原爆ドーム)の中にいた人は、亡
なってしまうかと思って、トイレの中にいた人は助か
た。ということがわかり、なぜだろうと思いました。その
理由を原爆先生がすみからすみまで教えてくれて、とて
も勉強になりました。他にも、どわては、原爆はあつ
か知り、とてもこわくなりました。太陽のあつさと同じく
ら、あついと思うと、太陽がおちてくる感じなんだ。思
いました。原爆でなくなった方は14万人、被爆者は24万
人と多くの人たちをくるしめた。原爆は、二度とつくては
いけないと、思いました。この機会を大切にして、生活して
いきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆のお話が聞けると知ってとても勉強になると思いました。私は、原爆のことをあまり知らなかったので、こまかいことまで説明して下さって本当にありがとうございました。1回目の大きな原爆が落ちたとき私は、なぜこのようなことが起きてしまったのだろうと思いました。そしてまた2回目の原爆が落ちると聞いて1回目にキセキで残った人々はまた痛い思いをして亡ってしまうのだろうか。と思いつても複雑な気持ちになりました。もし今もまだ続いていたとしたら、日本には人がいなくなってしまうと考えました。でも2回目の原爆が落ちなくて本当によかったです。私にとって原爆は自分たちの人生を左右するものだと思っからです。たった短い人生なのにそれをさらに短くならしてしまいもちろんまだ小さい子もいるのにその子の人生も原爆によって亡ってしまうかもしれません。こうしたことはもう二度と起きないことを私は願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この度は、原爆のことについてお話ししてくださりましたことにありがとうございました。私は今回原爆のお話を聞いてとてもこわかったし、悲しかったりと色々な感情が込みあげてきました。爆弾を落とし、そして人々を苦しめこんなことをしても何も得る物はないです。学校でも原爆について勉強したけどそれよりも深く考えることが出来ました。後は、原爆の表面温度が7000℃ということを知りました。太陽の表面温度でも6000℃なのに太陽の表面より熱いものが東京スカイツリーの高さくらいにまで近くにあると考えたらとてもぞくぞくしました。こんなにも熱かったらもちろん人は焼けこげてしまいます。

もう一生戦争や原爆はやらないでほしいです。この授業をもっと広めたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は約3mと小さいのに、広島市の建物を粉々にしてしまうような力があった。すごいと思いました。そして、その原爆が投下された時地上にいる人々へのダメージは鉄が溶ける温度よりもはるかに高い、3000℃ととても大きいものだ”と思います。

原爆が投下された後も苦しい思いをしてなくなった方や、全身にやけどをおった人々の気持ちを考えてみると想像を絶するもので、衝撃を受けました。

また、今まではあまり気にしていなかったきのこ雲ができる理由や、被爆者の方が後い症で原爆症という病気があるということを知ることが出来てとてもいい経験をする事ができました。

池田さんは記念館では伝えきれない出来事だ”と言っていました。そのことを伝えたいので、原爆についてもっとくわしく学び、実際にあった出来事をしっかりと知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

原爆の事を学んで原爆は3.12m約47もの重さで太陽より熱い人て想像できませんでした。エノラ・ゲイは、時速300kmの速さでアメリカから飛んで来て上空9632mの所から原爆を落とし地上から600mの所で爆発させて、空しゃうもなくいきなり来て、当時の人たちは、大やけどして、手首を持って皮ふがはがれるくらいで戦争で得るものはないと思ふためて実感させられました。戦争で焼けた今の原爆ドームは屋根と周りの形しか残ってなくて中にいた人も全員助からなくて、中もなにもなくなっていていかにとてもすごかったのだと思ひましたまた、あらためて戦争は二度とおこしてはならないものだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

この度は、原爆について話して下さいありがとうございます。

ぼくは原爆先生の話を聞き原子爆弾のい力がとても強く、いっしょにして多くの人がなくなり、また生きていた人も全体にかけどきおい、苦しみ、死んだ人も多くいたことを聞き、改めて、原爆のおそろしさや、さむくさを矢口ることができました。ほかにも原爆でむさんな姿だとしてくさいまいを出ていた死体をたくさんはごんだ軍の人もたいへんだったと思います。

ぼくは今回の原爆先生の話を聞き、原子爆弾などの兵器は二度と作るべきではないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、この話を聞き、私が思ったこと・感じたことは二つあります。

一つ目は、人々の悲しみ・苦しみます。太陽の表面温度よりもあつい爆弾が投下されたというのだから、ほとんどの人が死亡あるいは被爆しました。家族を失った悲しみはどれほどのものでしょう。「リトル・ボーイ」という可愛い名前をついたものが五人に二人の命をうばったと知ってとてもおどろきました。二つ目は今私達が戦争のない時代を生きていくことに対する感謝です。毎日安心して暮らし、ご飯も満足に食べられ、遊んだり勉強したりすることが出来る。戦争中の人々とは考えられないことだったでしょう。今では、この静かな町が焼け野原になったことなんて想像もできません。△

今回この学習をい改め戦争のおそろしさに気づいて深く考えることが出来ました。これから先私は戦争のない時代を生きていくことのありがたさを忘れずに生きていきたいと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、この授業では分からないことをたくさん教えてもらえて良かった。私は今まで原爆を落とす都市の条件を知りませんでした。原爆先生のお話を聞いてとてもびっくりしました。それは「効果的に仕掛けていくから」、「実験結果が分かりやすいから」というような理由で、罪のない人たちをたくさん殺されてしまったからです。

そしてもう一つびっくりした事があります。何かという、候補になった京都がなぜ原子爆弾投下都市にならなかった理由です。その理由は「京都は古い都であり、人間にとって重要なものはかきつけてはいけない」というものだった。私は重要な建物よりも人の命の方が大切だと思います。私はこの授業を通して、戦争の外側だけではなく内側を知りました。前に起こってしまった事を反省として、これからは自分たちが後の世代に受けつぎ、また戦争や原爆のない平和な世界を作っていきます。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生(池田さん)の話しを聞いて思ったことがあって、
その思ったこととは原爆は、思った以上に怖かったけど、分かりやすく
おしえてもらってうれしかったです。

おしえてもらったことをこれからにつなげたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/12

原爆先生のお話を聞いてからは、原爆を落とされた、広島と長崎はどんなに良かったでしょうかと。そう思うとなみだりかきでいきそうです。原爆が一つとうかさされただけで14万人もの命がうばわれるのは本当に悲しいと思います。原子爆弾が落とされる候補となった京都に落とされなくて本当に良かったと思います。理由は日本の貴重な文化財があるからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、原爆をおとされた
広島と長崎は、とても悲しい。思っていたら、か
たどつた、気持ちを少しはたんと改めて、思いました。
そして、5人に2人が死すという死亡率が、とても、
多くの方が死したのを聞いて、とてもおどろき
と、原爆がさらに、恐しく感じました。
リトルボイが、300km以上の速さで、落ちてくるの
を考えたら、とても、恐しく感じました。
衝撃波が2回あったのも、私は、びっくりしました。
1回目の衝撃では、ねかえたものが2回目となり、
そういう場合もあるんだと不安になりました。
そして、また原爆を落とされるのは、人を悲しませ
たりする、だから、もう二度と原爆があつてほしく
ないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、今までも、戦争や原爆は
恐しいものだと思っていたけど、今日の話を聞いて、
原爆は、人の心と体を傷つける絶対にあってはならない
ものだとあらためて感じました。

また、何とか生き残った人も後いよいよでくするしむことになったり、
ケガをしてもまともなしちをしても死ななくて亡なるまで、
一生、苦しい人生をおくることになったりする人や家族や親戚、
家をなくして悲しい思いをする人もたくさんいたんだろうと思いました。
この原爆先生は、原爆をいらい私したことのない私たちに
とって良い授業だと思つるのでこれからも続けてほしいと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて改めて戦争は恐しく、怖い物という事が分かりました。それと同時に、当時の人たちの気持ちを考えさせられました。当時の人たちはものすごく怖かっただろうなと思いました。なぜなら傷を負っている人たちは、痛い・苦しい・助けてと思っても、助けがあまりこないと思うからです。傷を負っていても、歩いても、歩いても、灰色の景色だけか目に入ってくるし、心に傷を負っていると思うからです。それでも、助けてを待ち続けているというのは、かまん強い人たちなんだなと思います。すごいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて、原爆はとも恐
しいと感じました。とくに私がとても恐
しいと感じたことは、一しゅんで人が亡くな
ってしまうことです。一しゅんで人が亡くなってし
まうことは、どれだけ放射線が強かった
か、また放射線が強いと、どれだけ放
射線が恐しいかなど、またあらたに
わかりました。他にもひんがむけて肉が
見えていたり、左ななめ前に手をやて歩い
たりしていることが、どれだけの被害にあ
っているかなど、話を聞いただけで、多くの
人が被害にあっていることが伝わりました。
また、私は恐しいと感じただけではなく、
原子爆弾は二度と落していけないと
思いました。なので、これからの子ど
もたちに私は原子爆弾の恐しさを伝え
二度とあんなことをおこさないでほし
い願いを伝えて平和な国をつくら
てほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

空襲の音がひびく中におぼろげに
しくてビクビクしました。

1個の爆弾だけでこんなに大きな
被害があったとは思ってもよかったです。

最後に話してくれた池田義三さんの
話を聞いてそんなひどいこととは
思いませんでした。

原爆がたたかっているのが大せい
というところがとても怖くて

そんな風にたたくのを聞いて
がっかりしてました。

もしもおぼろげとしたらさつき池田義三のよう
に耳と目をかくして逃げます。

あんな重たい音がたかつかれかどどど
くるでしょう。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話しを聞いてぞっとしました。怖さをこらえて聞いていたけどやはり戦争の悲しさ、むごさ、生々しさをこらえきれませんでした。もともと、心に残ったシーンはみゆきはし手前にいた17.8さいくらいの女の子が足の痛みをこられてなみだを流さなかったというところです。皮肉がパツパツとわれそこからウチムシが出てきたのににげずによし三さんは手当てをしたというところがすごく感どうしました。原爆を受けて原爆しょうになりまだ今も苦しんでいるという話を聞いてただ「戦争はむじり」と思うことしかできませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆はとても怖いと思っていたけどより恐しさを感じました。原爆先生が大きな音を出した時、ビックリしました。でも、広島にいた人たちは何もしらずに大きな音がしたから自分たちよりもっとビックリしたと思いました。横浜におとされなくてよかったと思いました。太陽より原爆が熱いことを私は、はじめて学びました。池田さんの父が生き残っていてとてもすごいと思いました。10才の男の子がお姉ちゃんのために兵隊や敗けをよぶところがすごいと思いました。私は、人がひふをたれさがりながら、前からあるいてきたらこおすぎてにげてしまうのではないかと思いました。なのに、義三さんはにげないでトラックにのせようとしていてとてもすごいと思いました。5人に2人の確率で死んでしまっているときいて家ぞくの中でも死んでしまうのではないかと思うととてもざんこく(ひさん)だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して
思ったことがあります。原爆というのは、その国を、
何もなかつたかのように全部が燃えついてしまい、
建物が残ったとしても、全部ではなく、痛々い
姿で残っていると思いました。また、大切な命も
消えてしまうので、原爆というのほどんたに恐し
いものかあらためて知りました。放射線というの
もあり、また、それも人々をまげんにさらしてしまう
ものです。その時、体は平気でも、その後、
命に関わる病気にかかり、いつかは、亡くな、て
しまうという、とてつもなく、恐いものと分かりました。
原爆先生が話してくれたように、原爆の恐
しさは、一つではなく、いくつもの恐しさがある
という事を、理解することかでき、学ぶことかでき
ました。広島人口35万人。五人に二人が死んでし
てしまつと広島の人か、とんとんへつてしま
い、人権も、うばわれてしまつと思ひました。
広島県産業奨励館(原爆ドーム)当時は、ホ
ロホロになつてしまひ、さんねんな、気持ちだつた



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆の話聞いて原爆が落とされた場所が全部なくなったり、すごく恐いものなんだと思いました。たゞ、上空 600M のところが太陽とほぼ同じ気温ですごくあついの生きていたり、やけどをしても、いためにたえて兵隊に助けをねんとか求めようとしているので、おいて。それに原爆を体験した人たちがすごくかわいそうで。

話を聞いていて、建物が全部こなこなになつて、すこい力のある原子爆弾を落とすので、性別も分らない。人々の物が地面に落ちていふというのがすこくきょうふでこわいなと思いました。広島市の人口が元々 35万人の中で死亡率が 40%、ほぼ半分の人がたなつて、びくびくしたのが、原子爆弾のせい。5人に2人がたなつたという事です。これだけの人々の命をうばつていたのが、私はすこく恐くて、やしている側は、自分の国がよがや、こやられたら、やた。と思うはかなので、よく爆弾を落とす、人がくるしんこいるところを見ていられたなと思いました。私はもう原子爆弾落とされたくない、日本以外の国にやるというのをやめてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆がここまで悲惨なものだとは思いませんでした。原爆のことは授業でも習ったが、知ったつもりでいたけど、死んだ人が4万人で、被爆者数が24万人は多すぎると思いました。死んでいる人の数も多いけど、生きていても、やけどがひどくて、今まで味あったことのないくらいいのがさ痛におそわれて、生きても死んでも、じこくだったと思います。今の広島は、元通りにもとどって、原爆のことを思い出させないくらい良い町にもどったと思います。でも、原爆がとてもおそろしい物ということに変わりありません。だから、原爆は2度と使ってはいけない物だと思います。戦争の話と同じで、得る物は一つもなく、失う物はかりだと思います。だから私は、原爆のおそろしさを伝えていって、2度とこういうことのない世界になってほしいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を通して、原爆はすごい物
だと、あらためて知りました。
原爆ドームの前の名前があった事も、
5人中2人が亡くなってしまふ事も、
候補に一番名があがっていたのが京都
だったという事も、
リトルボーイには他の名があつたという
事も、私達がふだん聞けないお話を
90分間、私達にわかりやすく、教えてくれて
今よりも、もっと社会という授業に興味か
わきました。幸い中、教えていたたき、
本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて、原爆はとしても残酷でたくさんの人たちが亡くなってしまふ悲しいものなんだと思いました。また、原爆先生の言で、原爆が火を起したときの温度は、爆発のまわりは7000℃で中心はなんと100万℃というすごい温度で太陽よりも高い温度になっていることにおどろきました。また、被爆された方は体全体に大やけどをおうて助けを求めていたということも想像するだけで悲しくなります。そしてそれを見ていた兵隊の方たちもそうそうこれ、恐いものであり、まさに地獄を見ているのと同じで、とてもつらかったと思います。ぼくはこのようなことを学んで、原爆は二度と使ってはいけないものだと思います。また、戦争も二度としてはいけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、げんしぼくたんで、アタシの人か
たくな、てしまうから怖いと思い、
もし自分がその時に、げんしぼくたんで
うけていたと、おぼろしく思っていたと思っ
たから、その恐ろしさをかかえながら、
人々を助けに行、た、自衛隊の
人たちにすごい感謝した、と
思、た。

そしてぼくが、一番うれしいと
思、たのが、一発のげんし
ぼくたんで、5人に2人が
死、てしま、うと、いう事、が
こ、れ、い、と、感、じ、た。

アタシさん、ぼくたんでおと、ま、た、
ら、その分、人が、次々と死、て、し、
ま、う、事、が、あ、ま、り、で、
こ、れ、い、も、の、だ、と、ぼ、く、は、
感、じ、た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私が原爆先生のお話しを聞^きて悲惨だと思^{おも}ったことは、アメリカ軍の考え方です。なぜなら、同じ人間どうしなのに多くの人がいるまたは、大きな都市に原爆を落とす。どのくらいのかがあるのかを人を実験台として行ってからまた、自分たちがまきまかれな^いように逃げたり、どのくらいはなれた場所に落とせば大きな被害がでたりあると細かく計算^{さん}され大きなぎせ^い者を出るよう^に考えていたから。私は池田義三^{さん}たちは、可^あげられない人だ^らと思った。なぜなら、死体を運ぶ^{こと}はイヤなことだ^らと思うけれど義三^{さん}は、イヤという思^{おも}いを持ちながら(軍人としての役割をしっかりと)はたし、助けられる人は助けた^らという考えを^していたから。

原爆を実際に経験した人は、少^{すく}くな^るで^るので、今回のような話しをま^まく^{こと}が^まま^まよ^かったと思^{おも}った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆のことを聞いていてどんな
に原爆が何さんかが分かりました。一
番心に残ったことは、原爆の爆発の
の温度とか、どこで爆発していたか
を糸田さんが説明していたからで、原爆
はそれからも原爆が戦争が、あつそ
いのない平和な国になつてほしい
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆の恐ろしさが以前よりも原爆先生の授業で分かりました。原爆を体験した先生のお父様によりリアルな実体験に僕は恐怖で思わず目をつぶって下を向いてしまいました。原爆が太陽よりも熱いこと、被爆者達の本当の姿に驚きました。太陽がスカイツリー展望台の高さにあることは恐怖でしかないなと思えました。被爆者の姿は原爆資料館の人形でも悲惨だというのにそれ以上に悲惨だということは何とて悲しく大変なものだなと感じました。最初におっしゃっていた「7000℃の子」というのは外部温度7000℃の小さな子(リトルボーイ)なのかと先生の授業で考えました。これからは原爆の悲惨さを自分達が伝えなければならぬ、改めてそう感じさせてもらいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

はなしを聞いてあらためて戦争はこわいもの
 だと思いました。原子爆弾は人の命をかたんに
 うばってしまうもので死者数の14万人中の2万
 人がいっしょんで命をおとすというこわいものと
 分かりました。ねっせんでやかれてしまったり、し
 ゅうげきはでとんでしまったりとこわいことではい
 いなのが分かりました。また本当は京都にお
 ちていたかもしれないということをはじめで知まし
 た。原子爆弾により、たても(家)などがこわれ、
 焼けきにあってしまったり、人がたくさん死んで
 しまったことも分かりました。また、しゅうげきはか
 おきた2秒後にまたしゅうげきはかおきたとい
 うのも初めて知りました。さらに、中心は100万℃、
 まわりは7000℃という太陽の6000℃をこえる
 あつさだということを知りてもあついものだと分か
 りました。また、ほうしゃせんによる病気があることを
 知りました。原子爆弾には、ねっせん、しゅうげきは
 ほうしゃせんという3つのこわさがあることを知り、
 戦争は多くの命をうばうとしてもこわいものだと思いま



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話聞いてころにひびきました。また原爆はすごいという物だとわかりました。

原爆の熱の玉の周りが7000℃という太陽の周り(6000℃)と同じようなものでひっくりしてしまいます

広島県に投下されたリトルボーイ別名小さな子。少年がもし今おとされたと考えるとゾッとしますね。ひびかト"ロトロでみるだけていいです。

原爆の衝撃波の速さが音速(340m)よりも早く毎秒440mの衝撃波がきたらしっしゅんてひびきとんていしますよね。原爆での死亡率が40%だということはおどろきをかくせませんね。原爆の話をしていたたきありがたうございます



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、広島に原爆がおとされて人々がくるしんだ時の様子をすることができて、
くはなただけと学ぶことができました。

ぼくは、広島に爆弾がおとされるしんだ人がたくさんいるということは分かっていました。けど、やけどをおってどうなったかも気になっていました。

ぼくはやけどをおった人があつく時にかい
にあるくイメージがあたけどうてをえると
わきのところどうてがあたて痛みを感
るからうてをななめ横にしてあつくとかい
るなことを学ぶことができました。

東京スカイツリーの高さかいかい太
面よりも1000たかいかいあつさでど
んなあつさか
るうどうてできませんでした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて、広島原爆のことは、テレビや新聞などで報道されていたり、授業でも勉強したりしたけれど、実際に体験したことを聞いてみると、原爆の恐ろしさがとてもよく分かりました。例えば、原爆がどう下される時のドーンという音は、とてもはく力があり、本当に自分が今そこ（広島）にいるように感じられました。きっと自分がそこにいたらとてもびっくりしていたのたろうなと思いました。また、それと同時に、その時は、こんなものではない大きな音、爆風などを当時の人は聞き、一しゅんて死んだり、焼けたりしてしまったり、胸が苦しくなりとても悲しいです。私は、またあらためて、このお話を聞いて戦争は二度としてはいけないということが胸に刻まれ、強く印象に残りました。これからも平和について考えていきたいです。そして、私も、原爆ドームを訪ねてみたいですね。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受けて改めて戦争は
二度とくりかえしては
いけないことだと思いました
池田義三さんのエピソードをじっくり
きいてると恐ろしく悲しみか
つたわってきました。この時
トラックがまていなかったから
兵隊の人たちがたづねたのかと思い
ました



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

とてつらい話をしてほくはとちゅう、なみだ
 がながれてたいてい、たいてい、はたして
 なりました。義三さんは、人助け、生きる姿、
 今がすばいと思ひました。 原爆から



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話も聞いて、原爆はすごく怖い
と思いました。戦争は二度とやらない
と思いました。原爆は太陽の表面温度より
高いときいてとてもおどろきました。太陽よりも
熱いものかいらってくるなんて、すごく怖い
と思いました。また、ほうしゃ線も怖い
と思いました。ほうしゃ線によつて今も原爆
はうに苦しんでいる人がいると聞いてとても
大変だと思いました。原爆が落ちた後
だけでなく、60年や70年も原爆によつて苦
しんでいる人たちがいると聞いて、本当に原
爆は怖いと思いました。また、いっしょん
で、たくさんの方が消えてしまうというのは
すごく怖いと思いました。また、黒いかけ
だけが残るといふのも、怖いと思いま
した。5人2人の人の命がなくなるなんて、
本当に怖いと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の話を聞いて、原爆は
とても怖くておそろしいものなんだ
と改めて思いました。また、最初の
方で「シュー」と言。たあとに2分くら
い止ま。て「ヒカン！」と言。たところ
は、声だけで怖か。たです。なので
実在では表しきれないほど怖
か。たのではないのかと思いま
した。15番(スカイツリーの画像が
あるところ)では、太陽よりも熱
い熱い温度が太陽よりも近づ
いてきていて、自分の600m上に
あることなんて考えてみたら
恐しくてふるえがとまらなくな
ると思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

文章の中に、こうショッキングな事があつたけど、リアルで、原爆のこわさがより分かりました。きっと原爆を体験した人は、想像もできないほどつらくて苦しかったのだろ
うと思います。話を聞いていて、戦争はぜったいにしてはいけな
いと思はれた。体験した人はつらい思いを
残したまま亡くなつていったのだと思
います。そんな思いを私たちも、次の世代も、その次の世代も、したくないです。戦争をして得することなんてないんだな、とあらためて思いました。これからは、私たち日本が原爆をおとされたただ一つの国として世界に戦争のおそろしさを伝えなければいけ
ないと思います。戦争というのは、人の心をダメにしていくものだと感じました。今日は私の誕生日です。この話を聞いて、今日を忘れられない誕生日にしようと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

広島と長崎に落とされた原爆によって、たくさんの方がやけどやケガをあって、亡くなったことが分かりました。広島に落とされた原爆「リトルボーイ」でいっしょにして人々が消えてしまったり、放射線、熱風、しょうげき波により、その地いきにいれた人々などが、悲しく、苦痛にあっていたと思うと、すごく悲しい気持ちになりました。放射線によって原爆しょうげきになったり、放射線により、まだ自分の家に帰れないという悲しい現実にあっている人々がいて、原爆で被爆した人たちの遺体をその場で焼いた軍兵の人にも悲しかったと思うし、とても恐いものだったと思ったと思いました。原爆が落とされたのは日本の広島と長崎だけと授業で習ったけど、原爆先生の話を聞いて、とてもたくさんの方が亡くなって、原爆によって家に帰れなかったり、病気になる人たちの悲しみや、つらさをもと考えると、このことを後世に伝えていけたらいいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆のことをよく話しして
 原爆のつらさがすごかったことをしました。
 最後の女の人の人形でほんとうにあう
 いうらだたらすごくこおいな。思
 いました。最後のビデオの池田よしぞう
 さんが話しして涙をながしていたのを見て
 言葉では言えないうことが分かり
 ました。リトルホーイの落ち方などまで
 言っていてすごくおもしろいことが知れまし
 た。ぼくは、これから原爆の恐ろしさを
 豆頁の中に入れてから今後の人生を歩
 んでいきたいです。そしてもしも、国を代表
 する仕事についたら戦争をなくしていき
 たいと思います。

11/24
涙
涙
涙



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/12

今回話を聞いて今回のようおどかな
 かなざおさなければいけなかったか
 自分たちがどうすればよからたのか
 を考えることがだいじだと思ふ。
 そしてやけどだけで死者14万人
 もし空中ではなく地面でおき
 たう恐いと思つた。そして
 まだその可能性があるというのも
 怖いと思つた。もし戦争が下きた
 場合この原爆より多くの死者が
 できると思ふ。だから二度とこのよう
 なことがおきないために
 自分がやっていることを見なお
 すことが大事だと思ひました。